

村健介. 顎顔面部への侵害刺激による吻側延髄腹内側部(RVM)の興奮性は繰り返シストレスによって変化する。三叉神経系領域の感覚-運動統合機構研究会、軽井沢、2019年11月30日

2) 岡本圭一郎

第24回うま味研究助成成果発表会
うま味研究会、東京、2019年1月24日

【その他】

- 1) 岡本圭一郎、日本酒と健康について、新潟大学市民公開講座、新潟市、2019年12月4日
- 2) 山村健介、高齢者向け食品開発のための摂食嚥下のメカニズムとテクスチャー測定・制御手法：摂食嚥下の基礎と加齢変化、テックデザイン講演会、東京、2019年10月9日

口腔生化学分野

【著書】

- 1) 照沼美穂：アストロサイトの神経細胞保護機構。ブレインサイエンス・レビュー2020. 213-232頁、クバプロ、東京、2020.

【論文】

- 1) Li X, Terunuma M, Deeb TG, Wiseman S, Pangalos MN, Nairn AC, Moss SJ, Slesinger PA. Direct Interaction of PP2A Phosphatase with GABAB Receptors Alters Functional Signaling. *J Neurosci.* 40(14):2808-2816, 2020. doi: 10.1523/JNEUROSCI.2654-19.2020.
- 2) Amaya Y, Nakai T. Localization and ER membrane insertion of parathyroid hormone-related protein analyzed without effects of reporter proteins. *FEBS Lett.* 594(2):383-392, 2020. doi: 10.1002/1873-3468.13592.
- 3) Terunuma M. Roles of astrocytes in neuroprotection. *Niigata Dent J.* 49(2):1-7, 2019.
- 4) 伊藤元貴, 西川 敦, 結城龍太郎, 勝見祐二, 黒川亮, 児玉泰光, 高木律男：C1-INH 製剤の予防投与なく抜歯を行い得た遺伝性血管性浮腫の1例. *日歯病誌* 28(1):25-31, 2019.

【研究費獲得】

- 1) 照沼美穂：食欲中枢の制御機構と破綻の分子基盤の解明。日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B), 17H04372.
- 2) 照沼美穂：アルコール摂取がもたらす認知機能障害の分子基盤。日本学術振興会科学研究費基金 国

際共同研究加速基金 国際共同研究強化 (B), 18KK0258.

- 3) 照沼美穂：アストロサイトによる新規の神経保護機構。ブレインサイエンス振興財団 第32回研究助成.
- 4) 照沼美穂：アンモニアを起因とした認知機能障害発症機序の解明。武田科学振興財団 2019年度医学系研究助成.
- 5) 飯田和泉：GluK3含有カイニン酸受容体による不安行動制御の解明。日本学術振興会研究費基金 若手研究 (B), 17K14960.
- 6) 岸川咲吏：唾液分泌機構における新たな分子シグナリングの解明。日本学術振興会化学研究費基金 若手研究, 18K17219.
- 7) 岸川咲吏：グルタミン合成酵素を起点としたてんかんの発症機序。上原記念生命科学財団 平成30年度研究奨励金.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Miho Terunuma: GluK3-containing Kainate receptors influence the anxiolytic-like activities in mice. 6th Congress of Asian College of Neuropsychopharmacology. Fukuoka, Japan 2019.10.11-13.
- 2) 飯田和泉, 渡辺雅彦, 崎村建司, 照沼美穂：不安行動におけるカイニン酸型グルタミン酸受容体 GluK3 の役割. 第29回日本臨床精神神経薬理学会・第49回日本神経精神薬理学会, 福岡, 2019.10.11-13.
- 3) 照沼美穂：健康な脳を維持するために必要なことは？ 第3回オーラルサイエンス研究会, 長岡市, 新潟 2019.11.9-10.
- 4) Miho Terunuma: Formation and detoxification of ammonia in the human body. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment. Bali, Indonesia, 2019.2.10-12.

【学会発表】

- 1) Miho Terunuma, Izumi Iida, Masahiko Watanabe, Kenji Sakimura: GluK3-containing Kainate receptors influence the anxiolytic-like activities. The 10th Takeda Science Symposium on PharmaSciences. Osaka, 2019.1.24-25.
- 2) 飯田和泉：不安行動におけるカイニン酸型グルタミン酸受容体 GluK3 の役割. 第3回オーラルサイエンス研究会, 長岡市, 新潟 2019.11.9-10.
- 3) Ayaka Komatsu, Sari Kishikawa, Genki Ito, Izumi Iida and Miho Terunuma: Ammonia-mediated induction of Alzheimer's disease pathology in astrocytes. Neuroscience 2019, Chicago, USA, 2019.10.19-23.
- 4) 伊藤元貴, 高木律男, 照沼美穂：口腔扁平上皮癌細

胞におけるアセチル CoA カルボキシラーゼの役割. 第 61 回歯科基礎医学会学術大会, 千代田区, 東京 2019.10.12-14.

- 5) 天谷 吉宏、中井 俊樹: 副甲状腺ホルモン関連タンパク質シグナルペプチドの分子進化上保存されたトリプトファン残基が二重局在に及ぼす役割. 第 92 回生化学会大会, 横浜市, 神奈川 2019.9.18.
- 6) Ayaka Komatsu, Sari Kishikawa, Miho Terunuma: Ammonia induces Alzheimer's disease pathology in astrocytes. 2019 ISN-ASN (International Society for Neurochemistry), Montreal, Canada, 2019.8.4-8.
- 7) Sari Kishikawa, Miho Terunuma: Ammonia-induced regulation of glutamine synthetase stability in astrocytes. NEURO2019 (第 42 回日本神経科学大会/第 62 回日本神経化学会大会) 新潟市, 2019.7.25-28.
- 8) Ayaka Komatsu, Sari Kishikawa, Izumi Iida, Fumiko Harada and Miho Terunuma: Ammonia increases the expression of amyloid precursor protein in astrocytes. NEURO2019 (第 42 回日本神経科学大会/第 62 回日本神経化学会大会) 新潟市, 2019.7.25-28.
- 9) 飯田渡辺和泉, 今野幸太郎, 夏目里恵, 阿部学, 渡辺雅彦, 崎村建司, 照沼美穂: 不安様行動におけるカイニン酸受容体 Gluk3 サブユニットの役割. NEURO2019 (第 42 回日本神経科学大会・第 62 回日本神経化学会大会) 新潟市, 2019.7.25-28.
- 10) 岸川咲吏, 照沼美穂: アストロサイトに発現するグルタミン合成酵素の発現調節機構. 第 60 回新潟生化学会, 新潟市, 2019.7.6.
- 11) 小松彩夏, 岸川咲吏, 飯田和泉, 照沼美穂: アンモニアによる新規アルツハイマー病関連因子蓄積のメカニズム. 第 60 回新潟生化学会, 新潟市, 2019.7.6.
- 12) 伊藤元貴, 高木律男, 照沼美穂: 口腔扁平上皮癌細胞における脂肪酸合成経路の役割. 第 60 回新潟生化学懇話会, 新潟市, 2019.7.6.
- 13) 飯田和泉, 夏目里恵, 阿部学, 崎村建司, 照沼美穂: カイニン酸型グルタミン酸受容体サブユニット GluK3 は発現量依存的に不安行動を調節する. 第 60 回 新潟生化学懇話会, 新潟市, 2019.7.6.
- 14) 伊藤元貴, 高木律男, 照沼美穂: 糖尿病治療薬メトホルミンは口腔扁平上皮癌細胞の遊走と増殖を阻害する. 第 52 回新潟歯学会総会, 2019.4.13.

【受賞】

- 1) 伊藤元貴, 高木律男, 照沼美穂: 口腔扁平上皮癌細胞における脂肪酸合成経路の役割. 第 60 回新潟生化学懇話会 優秀ポスター賞, 新潟市, 2019.7.6.
- 2) 小松彩夏, 岸川咲吏, 飯田和泉, 照沼美穂: アンモニアによる新規アルツハイマー病関連因子蓄積のメカ

ニズム. 第 60 回新潟生化学会 優秀ポスター賞, 新潟市, 2019.7.6.

【その他】

- 1) 照沼美穂: アストロサイトが担う脳内グルタミン酸代謝の制御機構. 21 世紀を明るく科学する会, 伊東市, 2019.9.7-8.
- 2) 伊藤元貴, 高木律男, 照沼美穂: AMPK-ACCシグナルがもたらす口腔扁平上皮癌細胞への抗癌作用. 先端歯学スクール, 大阪市, 2019.8.26.

歯周診断・再建学分野

【著書】

- 1) 山崎和久: 第 1 章 歯周病を正しく理解するための基礎知識 6 歯周病の免疫学, 「ザ・ペリオドントロジー第 3 版」(沼部幸博, 梅田 誠, 齋藤 淳, 山本松男編), 20-25 頁, 永末書店, 京都, 2019.
- 2) 小林哲夫: 第 3 章 ペリオドンタルメディシン 8 歯周病と関節リウマチ, 「ザ・ペリオドントロジー第 3 版」(沼部幸博, 梅田 誠, 齋藤 淳, 山本松男編), 77-78 頁, 永末書店, 京都, 2019.
- 3) 奥田一博, 多部田康一: 第 4 章 歯周病の検査・診断と治療 1 歯周病の分類と診断, 「ザ・ペリオドントロジー第 3 版」(沼部幸博, 梅田 誠, 齋藤 淳, 山本松男編), 84-89 頁, 永末書店, 京都, 2019.
- 4) 多部田康一: Part3 歯周炎新分類 (2017) を理解するための知識と臨床 Chapter3 宿主応答から見た歯周炎病因論, 「歯科医師・研究者チームによる歯周治療のコンセンサス 1 歯周炎の新分類 (2017)」(吉江弘正, 二階堂雅彦, 畑めぐみ編), 28-33 頁, インターアクション, 東京, 2020.
- 5) 高橋直紀, 多部田康一: 第 1 編 歯周病の基礎知識 第 2 章 歯周病の原因と症状, 「臨床歯周病学 第 3 版」(村上伸也, 申 基詰, 齋藤 淳, 山田 聡編), 15-19 頁, 医歯薬出版, 東京, 2020.
- 6) 小林哲夫: 第 1 編 歯周病の基礎知識 第 7 章 遺伝的素因, 「臨床歯周病学 第 3 版」(村上伸也, 申 基詰, 齋藤 淳, 山田 聡編), 63-68 頁, 医歯薬出版, 東京, 2020.

【論文】

- 1) Yokoji-Takeuchi M, Tabeta K, Takahashi N, Arimatsu K, Miyazawa H, Matsuda-Matsukawa Y, Sato K, Yamada M, Yamazaki K: Indirect regulation of PCSK9 gene in inflammatory response by *Porphyromonas gingivalis*